

中国の日本語学習者に対する日本留学への意識調査 — 中国遼寧省大連の大学での調査 —

A Survey of the Attitude of Chinese Students towards Studying in Japan

土居 繭子
Mayuko DOI

(平成25年10月15日受理)

グローバル化が進み、進学に際して海外の教育機関も選択肢の一つとされることが増えてきた昨今、果たして、日本は世界の学生に留学先として魅力的に映っているのだろうか。留学を希望する世界の学生は、留学先の決定に際し、どのような点を重視するのだろうか。

今回は、在日留学生の半数以上を占める中国人学生に焦点を絞り、日本留学への意識調査を行った。東日本大震災や福島原発事故、さらに政治の問題など、様々な要因から日本への留学生数が減少しているのではないかと考えられる中国の、学生の声を調査することで、今後の日本における留学生対策に役立てることが本稿の目的である。

1. はじめに

ボーダーレス社会が目前に迫っている今日の世界では、以前に比べ、進学先も国の範囲を超えて選択できるようになってきた。日本の大学で学ぶ学生も、1999年の55,755人から2012年には137,756人にまで増加している（独立行政法人日本学生支援機構、2013）。東京大学が海外からの留学生を受け入れやすくするために、日本人学生の「秋入学」を検討するほど、留学生の獲得を視野に入れた大学経営が、多くの大学でなされている。

そんな中、2011年に起きた東日本大震災と福島原発事故や、2012年の尖閣諸島国有化から顕著化した日中関係の悪化の問題もあり、在日留学生の半分以上を占める中国人留学生数の減少傾向が大きな懸念材料となっている。中国からの留学生数は今後も維持できるのだろうか。それとも、著しい経済発展を遂げた中国では、日本への留学よりもむしろ別の選択肢を選ぶ学生が多くなっているのだろうか。

これらの疑問を解くため、今回、中国で日本語を学ぶ学生に対し、留学希望の有無、留学目的、留学先決定の際に重要視することなどを尋ねるアンケート調査を行うことにした。また、併せて減少傾向にある在日中国人留学生の減少理由、将来の展望などについても意見を聞くことで、中国人学生の日本留学に対する意識を明らかにしたいと考えた。今回は、中国の中でも特に日系企業が多く、日本語学習者も多い遼寧省の大連に的を絞り、大連市内の日本語学習者を対象に調査することにした。

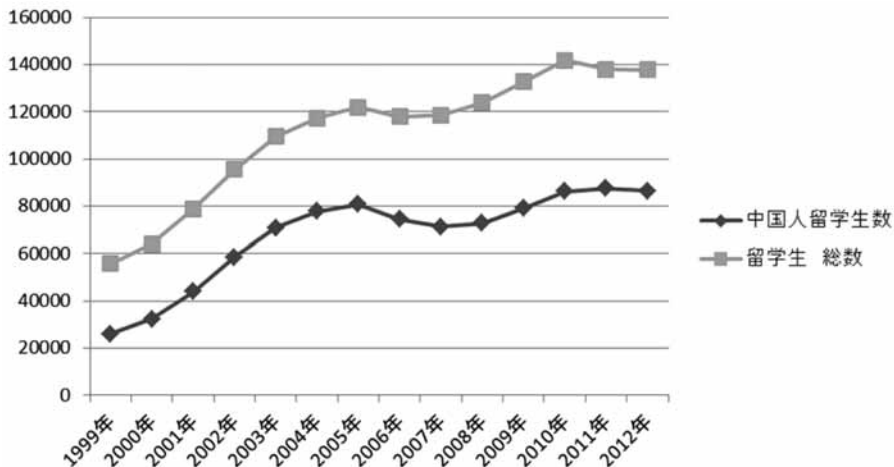
本稿では、第1章で調査目的を説明し、第2章で世界の中の中国人留学生、日本へ留学する中国人学生などについて紹介する。第3章では、アンケート調査の調査対象や調査内容について説明し、第4章で調査結果の説明と分析をする。最後にまとめを行う。

2. 日本へ留学する中国人学生

グローバル化が進み、世界の留学生数は拡大し続けている。OECD（2013）によると、1975年に80万人だった世界の留学生数は、1990年に130万人、2000年に210万人、2011年には430万人と、35年で5倍になった。

日本でも、1983年に「留学生10万人計画」、2008年には「留学生30万人計画」が政府から発表され、グローバル化への対策を立てている（文部科学省、2008）。1998年の「留学生10万人計画」は「教育」、「友好」、「国際協力」を目的とし、2000年までに留学生を10万人受け入れることを目標としたが、この目標は3年遅れで達成された。達成された背景には、日本での入国管理規制の緩和が大きく影響していたようだ（茂住、2010）。しかし、この入管規制緩和により、不法残留などの問題が生じたため、入管は留学生の受け入れを制限した。そのため、2006年に留学生数が減少している（図1）。また、2005年には歴史教科書問題や日本の国連安保理常任理事国入りに対する反対運動などの影響で、中国各地で反日デモが起き、反日感情が大きくなった。その後、反日デモは鎮圧されたが、このことも2006年の留学生数減少に影響している可能性もある。その後、2008年に留学生数は回復し、2005年の12万人と同程度にまで回復した。

【図1. 日本における留学生数（人）】



※日本学生支援機構（JASSO）の発表（平成11年度～平成24年度）により、筆者が作成
 ※2010年7月1日付けで在留資格「留学」「就学」が一本化された

図1からもわかるように、日本に滞在している留学生全体に対して、中国人留学生の占める割合は高い。例えば2012年は全体の62.7%を占めている（独立行政法人日本学生支援機構、2013）。日本の留学生数は中国からの留学生に大きな影響を受けていると言える。

しかし、2011年3月の東日本大震災、福島原発事故以降、多くの中国人留学生が日本を離れ、予定されていた海外から日本への留学も次々とキャンセルされた（劉迪、2012）。さらに、2012年の尖閣諸島国有化による日中関係の悪化などの影響からか、2011年以降、

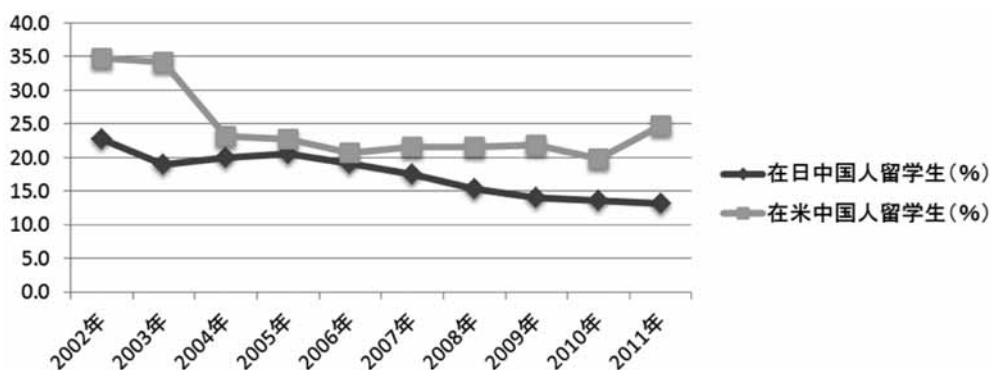
それまで伸びていた中国人留学生数が停滞している。2012年度の調査では、中国人留学生は前年度から1.4%マイナスの伸びとなっている。中国新聞網（2013）でも、「日中関係の影響で、大学留学予備軍と言われる日本語学校への留学を申請する学生が激減している。このままでは日本の『留学生30万人計画』も実現が難しいのではないか」（筆者訳）と報じている。

中国からの留学生減少の理由はもう一つ考えられる。21世紀の最初の10年で中国人の平均GDPは4倍にもなり、中産階級の家から子どもを留学させることができるようになった（劉迪、2012）。この中国の経済変化から、子どもの進路に海外留学の選択肢が増え、日本のみならず、その他の国々もその選択肢に加えることができるようになった。

このように中国人の対日感情や、経済発展による進路選択肢の増加を考えると、日本への留学生数がこのまま減少し続ける可能性も否定できない。

OECDの調査からは、この10年で、世界における中国人留学生の中で日本に留学している中国人留学生の割合は減少していることがわかる（図2）。在米中国人留学生の割合と比較すると、2005年以降、在日中国人留学生の割合が減少し続けている。

【図2. 世界の中国人留学生に対する、在日・在米中国人留学生の割合】



※ OECDの発表（2004年～2013年）により、筆者が作成

以上のように、中国人留学生は日本の留学生全体の半数を占めるのであるが、世界の中の中国人留学生全体からみると、留学先を日本に選ぶ中国人留学生は減少傾向にあることがわかる。そこで、今回は中国人学生を対象にし、日本留学への意識調査（アンケート調査）を行うことにした。日本の大学が、中国人の学生に対し、魅力的に映るためには、中国人学生の留学目的や、留学先決定に際して重視することなどを明らかにし、日本のそれぞれの大学が対応していくことが必要となる。また、日本における中国人留学生の減少について、実際には何が原因なのか、今後もその傾向が続くのかについて、中国人学生の意見を明らかにしたいと考えている。

次章で、調査について説明する。

3. 調査について

本章では、2013年8月に行ったアンケート調査について説明を行う。

調査対象

本調査の調査対象は、中国大連にある三つの大学（4学部）の学生501名（平均年齢20.14歳）で、いずれも日本語を学習中の学生である。平均日本語学習歴は1.55年である。回答者の大部分である456名が大学本科生（4年制大学学部生）であるが、大学専科生（3年制大学学部生）33名など、その他の所属の学生もいる。調査対象者は主として大学で日本語を学習しているが、大学に加えて日本語学校へ行くなどして学習している者（5名）もいる。

調査時期

調査は2013年8月23日から30日にかけて、それぞれの大学で行われた。

調査項目

調査は、大連市内の大学の授業内で調査票を配布し、調査対象者に回答を記入してもらう自計申告方式により行われた。

調査項目と調査内容

本調査は、Q1からQ13までの大設問を用意した。Q1からQ7までは「国籍」、「性別」、「年齢」、「日本語学習期間」などの属性を尋ねるものである。Q8は「日本語学習のきっかけ」、Q9は「日本語学習の目的」などを複数回答で質問している。Q10は学習者の進路希望を聞くものとなっている。Q11からは留学について尋ねている。Q11とQ12では「留学経験」、「留学希望の有無」を尋ね、留学希望がある者に対しては「留学希望先」、「留学先決定者」を質問した。さらに、「留学目的」、「留学を希望する理由」、「留学先決定に際し、重視すること」、「希望留学期間」などを質問することで学習者の留学に対するニーズを明らかにしようと試みている。最後に、Q13として「日本における中国人留学生在が減少しているとしたら、その理由は何だと思いか」という質問を設け、日本における中国人留学生在数減少傾向に対する原因を中国人学生にも推測してもらうことにした。また、Q13-2で「今後の展望」について尋ね、日本へ赴く中国人留学生在が今後も減少すると思うか否か、中国人学生の考えを尋ねることとした。

アンケート調査票作成に際し、横田（2009）の「外国人学生の日本留学へのニーズに関する調査研究」と、国際交流基金（2011）の2009年調査『海外の日本語教育の現状 日本語教育機関調査・2009年』の質問項目を参考にした。

横田（2009）は、学生が留学を決定する際に、どのような「留学魅力」を見だし、留学先を決定しているのかを調査している。そこで、今回、大連の日本語学習者が留学を希望する際、どのような点を重視して留学先を決定するのかについても、横田の調査項目が応用できると考え、横田の調査項目を参考に選択肢を設定した。

国際交流基金では、数年に一度「海外日本語教育機関調査」を行い、世界の日本語教育

の現状を分析している。1998年からは、学習者数、教育機関数だけではなく、学習者の日本語学習の目的なども調査し、分析を行っている。国際交流基金では1998年以降の調査で、学習目的の設問の選択項目の見直しを行った。そこで、今回は留学目的の項目を設定する際に、2013年8月の時点で正式に発表されている「海外日本語教育機関調査」の最新調査である2009年版のものを参考にした。ただし、今回、中国大連の大学生を主な対象に考えたため、中国の大学生の現状も鑑み、日本語学習のきっかけを尋ねる設問においては「専攻を選ぶ際に、他の選択肢がなかった」、日本語学習の目的を尋ねる設問においては、「学校で学習しなければならない」などの消極的要素も選択項目に付け加えた。

本調査のアンケート調査票は、まず日本語で作成され、次に中国語に翻訳された。翻訳したのは日本語能力試験N1に合格している中国人（日本在住歴4年）であり、その翻訳を台湾人（日本在住歴30年）にチェックしてもらった。アンケート対象者は、この中国語版のアンケート調査票に回答した。

4. 調査結果及び分析

本章では、アンケート調査の結果及び分析結果を述べる。

調査対象の属性

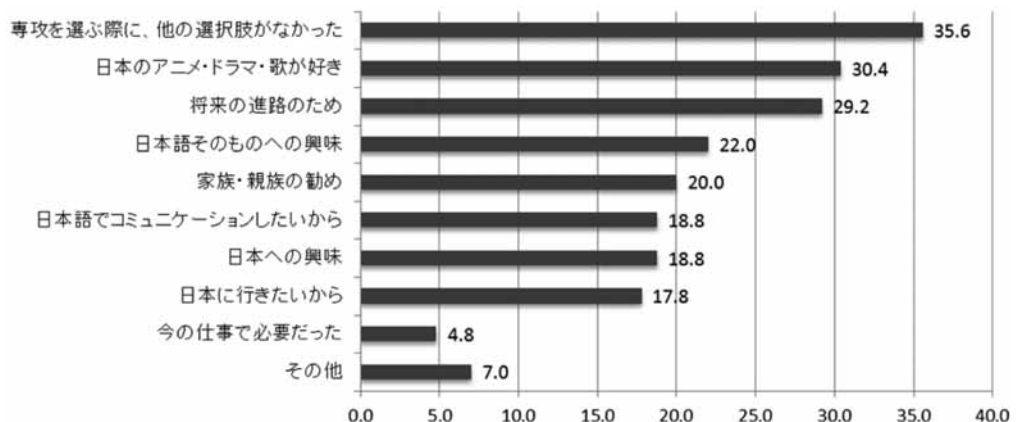
アンケート協力者501名の国籍を調べたところ、「中国」との回答が500名、「その他」との回答が1名であった。今回の調査は中国人を対象としているため、「その他」の回答は除き、500名の回答結果をもとに今後の分析を進めることにした。

回答者の性別は、男性90名（18.0%）、女性408名（81.6%）、未回答2名（0.4%）であった。年齢や所属、学習期間等に関しては調査対象者の項で述べた通りである。

日本語学習、進路に関する設問

Q8の「日本語学習のきっかけ」に対する回答をまとめたものが図3である。

【図3. Q8 日本語学習のきっかけ（複数回答、対回答者数比）】



「日本語学習のきっかけ」は「専攻を選ぶ際に、他の選択肢がなかったため」だとの回答が全回答数（有効回答数500）のうち35.6%を占め、トップに立った。次いで、「日本のアニメ・ドラマ・歌が好き」（30.4%）、「将来の進路のため」（29.2%）と続いた。

中国では、大学入学試験に際し、統一テストが実施され、そのテストの得点により大学を決定するといった方式がとられている。そこで、そのテスト結果によっては、実際の希望ではない大学や専攻を選ばざるを得ないといったこともあるようだ。例えば、英語を専攻したかったが、成績が足りず、やむなく日本語専攻に変更したということもあり得る。いずれにせよ、「日本のアニメ・ドラマ・歌が好き」や「将来の進路のため」といった選択肢を上回る率の回答があったということは特筆すべきである。

【図4. Q9 日本語学習の目的（複数回答、対回答者数比）】

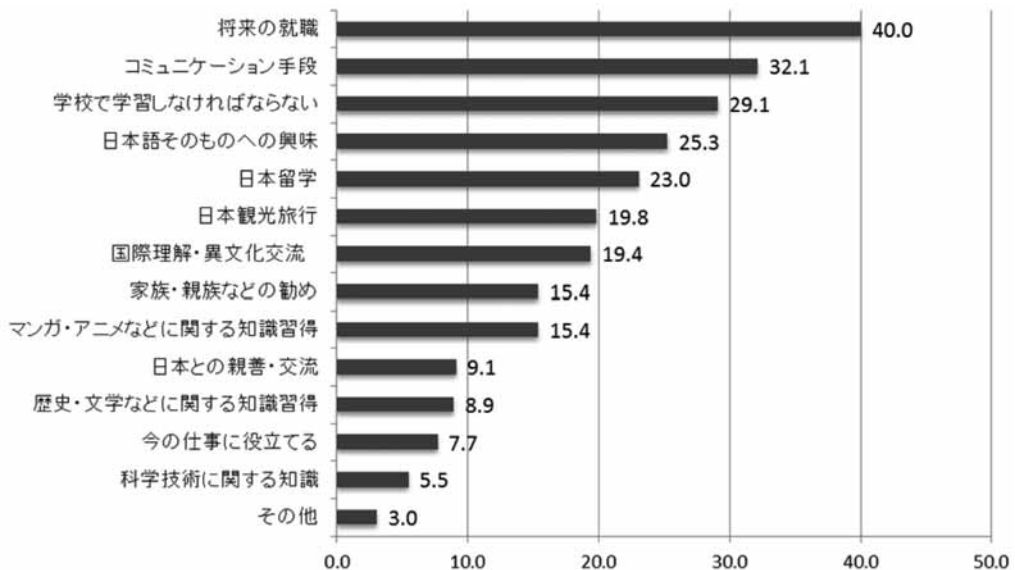


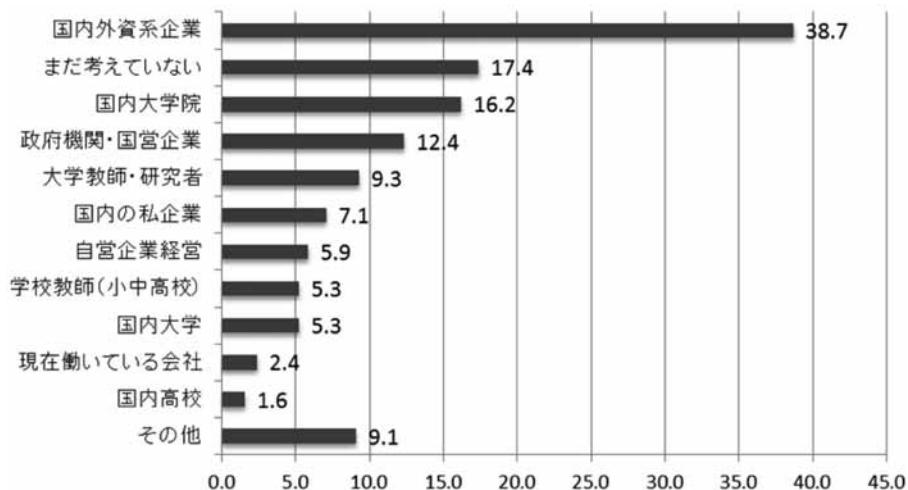
図4は、「日本語学習の目的」に対する回答をグラフで表したものである。国際交流基金（2011）の調査では、世界全体で見ると「日本語学習の目的」は「日本語そのものへの興味」（58.1%）、「コミュニケーション」（55.1%）、「マンガ・アニメ等に関する知識」（50.6%）と回答した者が多かった。それに比べ、大連の学習者は「将来の就職」（40.0%）、「コミュニケーション手段」（32.1%）、「学校で学習しなければならない」（29.1%）との回答が多かった。

「日本語学習のきっかけ」が「専攻を選ぶ際に、他に選択肢がな」く、学習目的も「学校で学習しなければならない」ので仕方がなく、といった日本語学習に対して消極的な学習者も多くいることが明らかになった。

また、「日本語学習のきっかけ」に「将来の進路のため」が3位に挙げられていることと、「日本語学習の目的」に「将来の就職」が1位に挙げられていることから、日系企業の多い大連では、日本語学習が将来の就職につながりやすく、日本語学習の大きな動機となっていることがわかる。

回答者の希望進路は、図5に示した通りである。国内外資系企業への就職を希望するという回答が他を圧倒している。

【図5. Q10 希望進路 (%)】



留学に関する設問

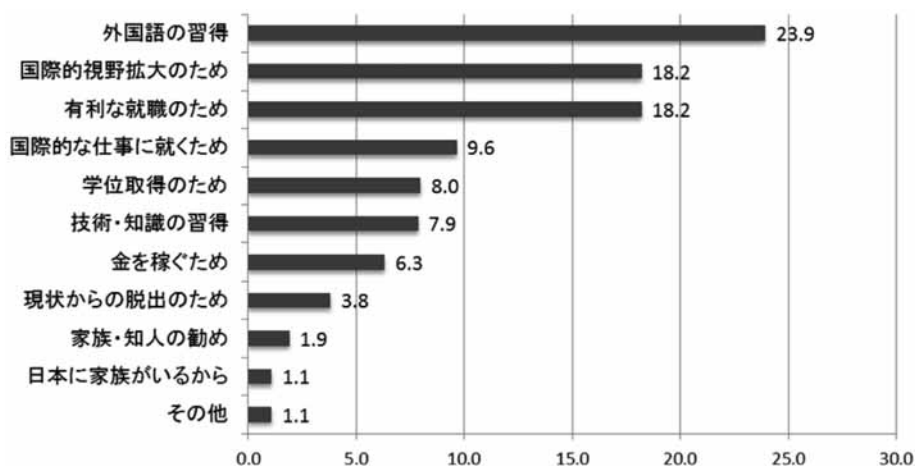
回答者の中で、「留学経験がある」者は15名(3%)であり、483名(97%)は留学経験がなかった。今後の留学希望の有無を尋ねたところ、留学したい意志が「少しある」または「強くある」と答えた者は合計で302名(69.1%)であり、「あまりない」と「全くない」の合計74名(16.9%)を大きく上回った。留学したいという意志がある者の中で、希望留学先を尋ねたところ、「日本」との回答が237件(75.0%)、「欧米」との回答が70件(22.2%)、「その他」は9件(2.8%)であった。

この希望留学先を選んだのは、「自分自身」だという回答(216件)は全体の76.3%を占め、2位の「親や家族」が決定したという回答(37件、13.1%)を引き離した。

この結果から、中国で、日本への留学希望者が減少しているのではないかと筆者の考えは、大連の大学での調査においては覆されることとなった。しかし、日本語を学習している学生の中で、欧米への留学を希望する者が20%を超えているという事実は、欧米人気を物語るものであり、今後欧米への留学を希望する学生数の増減によって、日本への留学希望者数も影響を受けるであろう。

希望留学先決定者についての回答結果は、分析前の予測と大きく異なるものとなった。中国人留学生や、中国で教えている複数の教員から、「留学先決定には親の意向が大きく反映している」との情報が多数寄せられていたため、分析前の段階では「親や家族」が留学先を選んだという回答が多いだろうとの予測を立てていた。しかし、今回は、留学が正式に決定していない段階での調査であり、まだ親と話し合いが行われておらず、そのため、今回の調査結果には学生自身の希望がストレートに反映されたのではないかと考えられる。

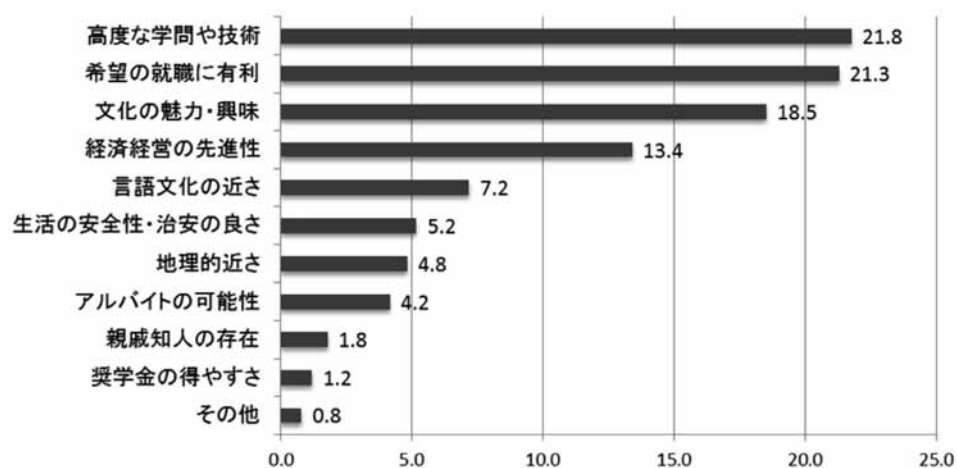
【図6. Q12-3-2 留学目的 (対回答者数比)】



日本に留学する目的について質問した結果が図6である。複数回答で調査しており、図6の結果は対回答者数比になっている。有効回答者数289名のうち、23.9%の回答者が「外国語の習得」を留学目的として挙げている。

日本への留学を希望した理由についての設問に対し、得た結果が図7である。

【図7. Q12-3-3 日本留学希望理由 (評価点構成比)】



なぜ日本へ留学を希望するのか、その理由については、「1番重要な理由」、「2番目に重要な理由」、「3番目に重要な理由」を回答者に選択してもらった。その結果、1番重要な理由に「高度な学問や技術」を挙げた者は有効回答者数284名の中の29.9%、「希望の就職に有利」だからという理由を挙げた者は26.8%、「文化の魅力・興味」を挙げた者は19.0%であった。

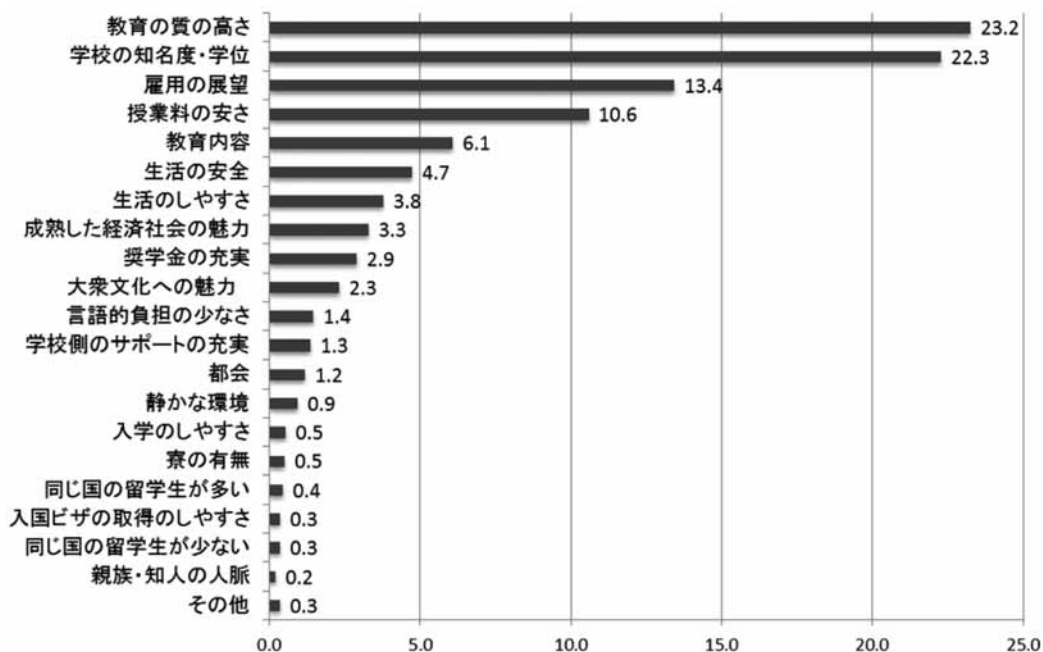
留学先を決める際には、一つの理由だけでなく、複数の理由を総合的に判断するだろうとの考えから、三つの理由を挙げてもらい、さらに順位付けを回答者に行ってもらった。

「1番重要な理由」を3点、「2番目に重要な理由」を2点、「3番目に重要な理由」を1点とし、評価点を計算することにした。評価点の構成比をとったものが図7に示すグラフである。この設問に関しては、「1番重要な理由」として挙げられた項目の上位3位までの順位と、評価点構成比の上位3位の順位は同じであった。「高度な学問や技術」を身につけられること、「就職」に有利であることが日本への留学の魅力となっているという結果であった。

同様に、Q12-1で留学を希望する意志があると答えた回答者に、「留学先決定に際し、重視すること」について「1番重視すること」「2番目に重視すること」「3番目に重視すること」を選択してもらった。その結果、「1番重視すること」は「学校の知名度・学位」が一番多く、114件（32.9%）であり、「教育の質」（97件、28%）、「雇用の展望」（43件、12.4%）と続いた。「1番重視すること」から「3番目に重視すること」までを「Q12-3-3 留学希望理由」と同じように評価点にして計算した結果が図8である。「教育の質の高さ」が1位（23.2%）となり、学校の知名度・学位（22.3%）、雇用の展望（13.4%）、授業料の安さ（10.6%）などが上位に挙げた。

「教育の質の高さ」が「学校の知名度」と同様に評価されていることから、中国人学生が「高度な学問や技術」を「質の高い」教育機関で学び、「就職」に役立てたいと考えていることが明らかになった。「学校の知名度」を留学先決定の際に重視するというのは、有名な学校は「質の高い教育」をしており、就職にも有利だと考えているからであろう。

【図8. Q12-4 留学先決定に際し、重視すること（評価点構成比）】

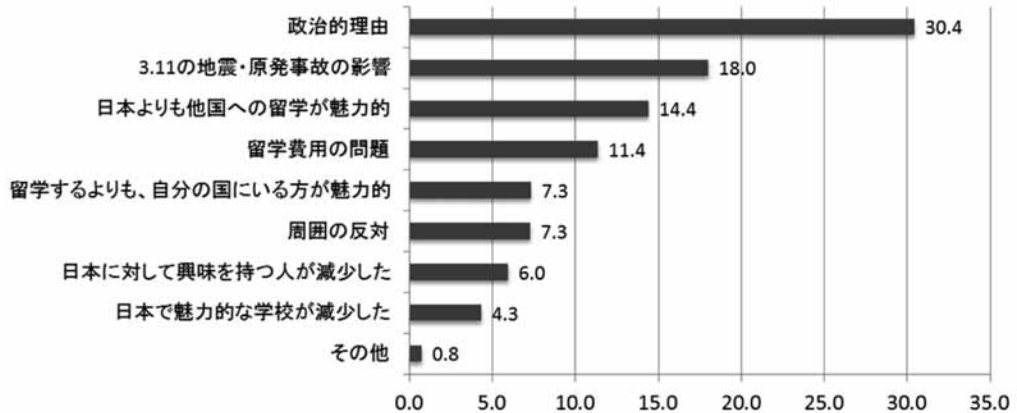


留学期間は「2年程度」と考えている者が全体の38.4%であり、次いで「就職して数年現地に滞在したい」と考えている者が18.2%と続いた。

中国人留学生減少に対する中国人学生の考え

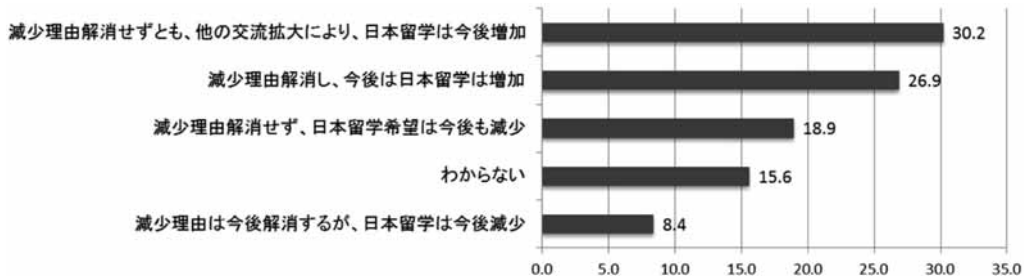
中国から日本への留学の現在と将来の展望についての設問がQ13である。「現在、日本へ留学する中国人が減少しているとしたら、どのような理由からだと思われるか」との質問に対し、Q14の設問などと同様に「最も重要な理由」「2番目に重要な理由」「3番目に重要な理由」を挙げてもらった。評価点も同様に算出し、得られた結果が図9の通りである。

【図9. Q13-1 在日中国人留学生減少理由（評価点構成比）】



2013年現在の日中関係を考えると、今後、中国人留学生は減少の一途をたどってしまうのではないかと思えるが、中国人自身は、今後「中国人の日本への留学の将来」に対してどのように考えているのだろうか。その点に関して、Q13-2で質問をした。「中国人の日本への留学の将来について、あなたはどのように考えますか。下記の中から一つ選んで○をつけてください。」という設問である。選択肢は5つ用意した。「1. (1) であげた理由は簡単には解消しないと思うので、日本への留学は将来的にも減少する」、「2. (1) であげた理由が仮に解消しなくても、経済交流などの拡大により、日本への留学は将来的には増加する。」、「3. (1) であげた理由はやがて解消すると思うので、それを契機に、日本への留学は将来的には増加する」、「4. (1) であげた理由はやがて解消すると思うが、日本への留学は将来的には減少する」、「5. わからない」の5つである。回答結果を表したものが図10である。

【図10. Q13-2 将来展望（対回答者数比）】



この結果を見ると、今後日本へ留学する中国人は増加するのではないかとの意見が合わせて57.1%ある。今後も減少するだろうとの意見27.3%を遥かに上回る結果であった。

この結果から、中国人学生個人の意見では、日本留学の将来に関してそれほど悲観的には考えていないことが示された。留学生減少の原因は解消するだろう、または減少の原因は解消せずとも、他の交流が拡大することで日本に留学する学生は増加するのではないかという明るい希望が見えてきた。

5. まとめ

国境を越えて進路を選択する現代の学生たちに、より魅力的に映る留学先とはどのようなものであるか。今回は、世界中の学生の中でも、日本語を学習する中国人学生に焦点をあて、留学先選択に際し重視することなどを調査した。また、日本が魅力的な留学先に今後もあり得るのかについても調査を行った。

その結果、中国人学生は「高度な学問や技術」を「質の高い」教育機関で学び、「就職」に役立てたいと考えていることが明らかになった。このことから、これらの学生を受け入れる各高等教育機関が、教育の質、高度な学問、はっきりとした就職の展望などを提供することが、今後の留学生受け入れ対策には必要であることが判明した。

また、在日中国人留学生減少の理由は、政治的理由だと考える中国人学生が多いのであるが、彼らは決して今後の日本留学に悲観的ではないことがこの調査で明らかになった。政治的理由が解消せずとも、他の交流などにより留学生数は回復するのではないかとの声が多かったことから、今後の日中関係の進むべき方向が見えてくる。国レベル、政治レベルの日中関係が回復することはもちろん望まれるが、それよりも一人ひとりが、経済、文化、その他の交流を促進させることで、留学など個人レベルでは国境を越えられるとの期待が持てる結果となった。

参考文献

和文文献

1. 国際交流基金（2011）『海外の日本語教育の現状 日本語教育機関調査・2009年』。
2. 茂住和世（2010）「『留学生30万人計画』の実現可能生をめぐる一考察」（pp.40-52）『東京情報大学研究論集Vol. 13 No.2』。
3. 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）（2013）「平成24年度外国人留学生在籍状況調査結果」（http://www.jasso.go.jp/statistics/intl_student/data12.html#no41）（2013年10月10日閲覧）。
4. 文部科学省（2008）「『留学生30万人計画』骨子の策定について」（http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/20/07/08080109.htm）（2013年10月1日閲覧）。
5. 横田雅弘（2009）「外国人学生の日本留学へのニーズに関する調査研究」（2008年、2009年度 文部科学省先導的の大学改革推進経費による委託研究）。

海外文献

6. 中国新聞網（2013）「中国赴日留学生鋭減 日本30万人留学生計画或受阻」（<http://www.chinanews.com/lxsh/2013/02-28/4603158.shtml>）（2013年10月8日閲覧）。
7. 劉迪（2012）「日本地震后中国留学生人数再次突破10万」（<http://news.sina.com.cn/c/2012-03-28/152924188437.shtml>）新民周刊（2013年10月8日閲覧）。
8. OECD（2004～2013）. Education at a Glance 2004～2013; OECD indicators. OECD Publishing.

中国における日本留学への意識調査

アンケート調査協力のお願い

本調査は、中国の方々に留学に対する意識を尋ねるものです。留学意思の有無や、希望地、留学を決める際に重要視することなどを尋ね、留学意識の実態を掴むことを目的としています。

本アンケートは無記名で回答していただき、得られた回答は本調査の分析以外には使用しませんので、ぜひ率直なご意見をお聞かせください。

静岡産業大学
日本語教育担当 講師
土居繭子

- あなたの国籍を教えてください。

1. 中国	2. その他
-------	--------
- あなたの性別を教えてください。

1. 男性	2. 女性
-------	-------
- あなたの年齢を教えてください。
() 歳
- あなたは下記のうちのどれに当てはまりますか。下から選んで○をつけてください。

1. 中学生	2. 高校生	3. 専門学校生	4. 大学生(専科生)
5. 大学生(本科生)	6. 大学院生	7. 社会人	8. その他
- あなたは、現在どの機関で日本語を勉強していますか。
(当てはまるものすべてに○をつけてください。)

1. 中学校	2. 高校	3. 大学	4. 大学院
5. 日本語学校	6. 会社	7. その他	
- あなたはこれまでに日本語を何年間学習しましたか。
() 年 () ヶ月
- あなたは日頃、どの言葉を主に使いますか。

1. 中国語	2. 朝鮮語	3. 日本語	4. その他 ()
--------	--------	--------	-----------------------

8. あなたが日本語を学習することにしたきっかけは何ですか。

(当てはまるものすべてに○をつけてください。)

- | | | |
|--------------------|-----------------------|--------------|
| 1. 日本語そのものへの興味 | 2. 日本への興味 | |
| 3. 日本のアニメ・ドラマ・歌が好き | 4. 日本語でコミュニケーションしたいから | |
| 5. 日本に行きたいから | 6. 専攻を選ぶ際に、他の選択肢がなかった | |
| 8. 将来の進路のため | 9. 今の仕事で必要だった | 10. 家族・親族の勧め |
| 11. その他 | | |

9. あなたが日本語を学習する目的は何ですか。

(当てはまるものすべてに○をつけてください。)

- | | | |
|----------------------|--------------------|---------------|
| 1. 日本語そのものへの興味 | 2. コミュニケーション手段 | |
| 3. マンガ・アニメなどに関する知識習得 | 4. 歴史・文学などに関する知識習得 | |
| 5. 将来の就職 | 6. 日本留学 | 7. 国際理解・異文化交流 |
| 8. 学校で学習しなければならない | 9. 日本観光旅行 | |
| 10. 科学技術に関する知識 | 11. 日本との親善・交流 | |
| 12. 家族・親族などの勧め | 13. 今の仕事に役立てる | 14. その他 |

10. あなたは、現在の学校で学習した後、どのような進路を希望しますか。

- | | | | |
|----------------|--------------|------------|--------------|
| 1. 国内高校 | 2. 国内大学 | 3. 国内大学院 | 4. 現在働いている会社 |
| 5. 国内の私企業 | 6. 政府機関・国営企業 | 7. 国内外資系企業 | |
| 8. 学校教師 (小中高校) | 9. 大学教師・研究者 | 10. 自営企業経営 | |
| 11. その他 | 12. まだ考えていない | | |

11. あなたは、留学した経験がありますか。

- | | |
|------------------|-------|
| 1. ある (国: _____) | 2. ない |
|------------------|-------|

12. 留学についてお聞きします。

(1) あなたは、今後留学する希望がありますか。

- | | | | | |
|---------|----------|----------|---------|---------|
| 1. 全くない | 2. あまりない | 3. わからない | 4. 少しある | 5. 強くある |
|---------|----------|----------|---------|---------|

↓
1 3へ

↓
(2)へ

(2) (1)で4と5を選んだ方のみお答えください。

希望する留学先の国はどこですか。

- | | | |
|-------|-------|------------------|
| 1. 日本 | 2. 欧米 | 3. その他 (_____) |
|-------|-------|------------------|

↳ (3)へ

↳ (4)へ

(3) (2)で1を選んだ方のみお答えください。

1. 日本を留学先に選んだのは

- | | | | | |
|----------|-------|------------|----------|--------|
| 1. _____ | 自分の意思 | 2. 親や家族の勧め | 3. 知人の勧め | 4. その他 |
|----------|-------|------------|----------|--------|

中国の日本語学習者に対する日本留学への意識調査

2. 留学する目的は (当てはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|----------------|----------------|-------------|
| 1. 技術・知識の習得 | 2. 外国語の習得 | 3. 有利な就職のため |
| 4. 現状からの脱出のため | 5. 家族・知人の勧め | |
| 6. 金を稼ぐため | 7. 国際的視野拡大のため | 8. 学位取得のため |
| 9. 国際的な仕事に就くため | 10. 日本に家族がいるから | 11. その他 |

3. 日本への留学を希望する理由を重要な順に3つ教えてください。

(下の中から選んでください。)

- | | | |
|--------------|-----------------|-------------|
| 1. 高度な学問や技術 | 2. 経済経営の先進性 | 3. 文化の魅力・興味 |
| 4. 地理的近さ | 5. 言語文化の近さ | 6. 親戚知人の存在 |
| 7. アルバイトの可能性 | 8. 生活の安全性・治安の良さ | |
| 9. 希望の就職に有利 | 10. 奨学金の得やすさ | 11. その他 |

1 番重要な理由 ()

2 番目に重要な理由 ()

3 番目に重要な理由 ()

(4) 留学先を決める際に重要視することを、下記の中から重要だと思う順に3つ選んでください。

- | | | | |
|-----------------|------------------|-----------|-----------|
| 1. 学校の知名度・学位 | 2. 教育の質の高さ | 3. 教育内容 | |
| 4. 雇用の展望 | 5. 授業料の安さ | 6. 奨学金の充実 | |
| 7. 生活のしやすさ | 8. 生活の安全 | 9. 都会 | 10. 静かな環境 |
| 11. 寮の有無 | 12. 学校側のサポートの充実 | | |
| 13. 成熟した経済社会の魅力 | 14. 大衆文化への魅力 | | |
| 15. 言語的負担の少なさ | 16. 同じ国の留学生が多い | | |
| 17. 同じ国の留学生が少ない | 18. 入国ビザの取得のしやすさ | | |
| 19. 入学のしやすさ | 20. 親族・知人の人脈 | 21. その他 | |

1 番重要 () 2 番目に重要 () 3 番目に重要 ()

(5) 留学するとしたら、どのくらいの期間現地に滞在したいですか。

- | | | |
|-------------------|--------------|------------|
| 1. 2年程度 | 2. 大学終了まで | 3. 大学院修了まで |
| 4. 就職して数年現地に滞在したい | 5. ずっと現地にいたい | |
| 6. その他 | | |

13. 中国から日本への留学の現在と将来の動向について、あなたのご意見をお聞かせください。

(1) 現在、日本へ留学する中国人が減少しているとしたら、それは次のうちどのような理由からだと思われるか。重要だと思う順に、下記の中から3つ選んでください。

- | | | |
|-------------------------|------------|--------|
| 1. 日本に対して興味を持つ人が減少した | | |
| 2. 日本で魅力的な学校が減少した | | |
| 3. 日本よりも他国への留学が魅力的 | | |
| 4. 留学するよりも、自分の国にいる方が魅力的 | | |
| 5. 3.11の地震・原発事故の影響 | 6. 政治的理由 | |
| 7. 周囲の反対 | 8. 留学費用の問題 | 9. その他 |

1番重要 () 2番目に重要 () 3番目に重要 ()

(2) (1) であなたがあげた理由との関係で、中国人の日本への留学の将来について、あなたはどのように考えますか。下記の中から一つ選んで○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. (1) であげた理由は簡単には解消しないと思うので、日本への留学は将来的にも減少する |
| 2. (1) であげた理由が仮に解消しなくても、経済交流などの拡大により、日本への留学は将来的には増加する |
| 3. (1) であげた理由はやがて解消すると思うので、それを契機に、日本への留学は将来的には増加する |
| 4. (1) であげた理由はやがて解消すると思うが、日本への留学は将来的には減少する |
| 5. わからない |

質問は以上です。 ご協力ありがとうございました。

中国对于留学日本意识的调查

希望你能协助此问卷调查

此调查问卷的是想调查中国人对留学的意识。是否有留学意向，留学的目的地，以及在考虑留学的时候被重视的事有哪些等等，对于这些来提问。希望通过此次调查掌握留学意识的实际情况。

本调查问卷以不记名的方式来回答。调查结果仅用于此次研究分析，不会另作他途，请您积极回答。（问题分前后 2 页）

静岡产业大学
日语教育担当 讲师
土居繭子

1. 你的国籍。 1. 中国 2. 其他

2. 你的性别。 1. 男性 2. 女性

3. 你的年龄。
() 岁

4. 你是下述的哪一个，请画圈。

1. 中学生 2. 高中生 3. 专门技术学校学生 4. 大学生（专科生）
 5. 大学生（本科生） 6. 研究生 7. 已在职 8. 其他

5. 你现在在什么地方学习日语？请画圈。
(可多选)

1. 中学 2. 高中 3. 大学 4. 研究生院
 5. 日语学校 6. 公司 7. 其他

6. 你至今已经学习日语多久了？。
() 年 () 个月

7. 你在日常生活中主要适用的语言是什么？

1. 汉语 2. 韩语 3. 日语 4. 其他 ()

8. 让你决定学习日语的契机是什么？请画圈。(可多选)

1. 对日语本身有兴趣 2. 对日本有兴趣
 3. 喜欢日本的动漫，电视剧，歌曲 4. 想用日语去交流
 5. 因为想去日本 6. 选择专业的时候，当初没有其他选择
 7. 为了将来事业发展 8. 因为现在的工作需要
 9. 被家人，亲戚推荐学习日语 10. 其他

9. 你是出于什么样的目的学习日语的？（可多选）

1. 对日语本身感兴趣	2. 交流手段	
3. 为了学习漫画，动画等等相关知识	4. 为了学习历史，文学等知识	
5. 将来的就业前景	6. 留学日本	7. 国际理解和不同文化的交流
8. 在学校不得不学习	9. 去日本观光旅游	
10. 学习科学技术相关知识	11. 与日本的友好交流	
12. 家人或亲戚的推荐	13. 因为有益于当下的工作	14. 其他

10. 完成现在学校的学业之后，你将来的人生方向是？

1. 国内的高中	2. 国内大学	3. 国内研究生院校	4. 现在在职的公司
5. 国内私業	6. 政府机关/国营企业	7. 国内外资企业	
8. 学校教师（小学，中学，高中）	9. 大学教师，研究员	10. 自己创业	
11. 其他	12. 现在没有考虑这些		

11. 你有留学的经验吗？

1. 有（国家：_____）	2. 没有
----------------	-------

12. 以下问题是关于留学的。

（1）你有意向今后去留学吗？

1. 完全没有	2. 几乎没有	3. 不知道	4. 有点儿	5. 非常强烈
---------	---------	--------	--------	---------



回答 13



回答（2）

（2）问题（1）回答选择4和5的，请回答以下问题。

希望去哪里留学呢？

1. 日本	2. 欧美	3. 其他（_____）
-------	-------	--------------



回答（3）



回答（4）

（3）问题（2）回答选择1的请回答以下问题

①. 选择日本留学是：

1. 自己的意思	2. 父母和家人的推荐	3. 熟人的推荐	4. 其他
----------	-------------	----------	-------

（下一页还有）

②. 留学の目的は（可多选）:

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. 学习技术知识 | 2. 学习外语 | 3. 有利于就业 |
| 4. 想脱离现状 | 5. 家人或熟人的推荐 | |
| 6. 想赚钱 | 7. 为了开拓国际化的视野 | 8. 为了获得学历 |
| 9. 想从事国际化的工作 | 10. 有家人滞在日本 | 11. 其他 |

③. 希望去日本留学的最重要的前三个理由是什么，从以下选项中选择。

- | | | |
|------------------|--------------|-------------|
| 1. 有较高水平的学术知识和技术 | 2. 先进的经济水平 | |
| 3. 文化魅力和兴趣 | | |
| 4. 地理位置相对比较近 | 5. 语言文化相近 | 6. 有亲戚朋友在日本 |
| 7. 打工兼职的可能性 | 8. 生活稳定，治安较好 | |
| 9. 对将来的就业有益 | 10. 容易获得奖学金 | 11. 其他 |

第一重要的理由（ ）

第二重要的理由（ ）

第三重要的理由（ ）

（4）决定留学时，重视的有哪些，从下面的选项中选出最重要的三个并排序。

- | | | | |
|----------------|----------------|-----------|-----------|
| 1. 学校的知名度·学位 | 2. 教育质量的水平 | 3. 教育内容 | |
| 4. 就业有利 | 5. 学费的高低 | 6. 奖学金的充实 | |
| 7. 生活便利 | 8. 生活安全 | 9. 大城市 | 10. 安静的环境 |
| 11. 宿舍的有无 | 12. 校方的支持是否充实 | | |
| 13. 较成熟的经济社会 | 14. 流行文化的魅力 | | |
| 15. 较少的语言学习负担 | 16. 自身国家的留学生很多 | | |
| 17. 自身国家的留学生很少 | 18. 容易获得签证 | | |
| 19. 容易入学 | 20. 亲戚，朋友的人脉 | 21. 其他 | |

第一重要（ ）

第二重要（ ）

第三重要（ ）

（5）如果去留学的话，想要在当地待多久？

- | | | |
|------------|-------------|-----------|
| 1. 2年左右 | 2. 待到大学毕业 | 3. 待到硕士毕业 |
| 4. 在当地就职几年 | 5. 一直都生活在当地 | |
| 6. 其他 | | |

13. 对于从中国去日本留学的当下现状, 和将来的动向, 请说出你的建议。

(1) 如果现在去日本留学的中国学生在减少, 你认为原因是以下的哪一些。选择最重要的三个并排序。

1. 对日本有兴趣的人在减少
2. 有魅力的日本学校减少了
3. 比起日本, 留学其他国家更加有魅力
4. 比起留学, 待在自己的国家更加有魅力
5. 2011年3月11日的大地震和核泄漏事故的影响
6. 政治上的理由
7. 周围的反对
8. 留学费用的问题
9. 其他

第一重要 () 第二重要 () 第三重要 ()

(2) 关于问题(1), 你选择的理由对于将来中国人去日本留学, 你是如何看待的。请从以下的选择一个, 并画圈。

1. 问题(1)中选择的原因无法简单的解决, 将来去日本留学的人也会减少
2. 问题(1)中选择的原因假设不能够解决, 但是因为经济交流的扩大等原因, 去日本留学的人反而会增多
3. 问题(1)中选择原因大概会解决, 所以到时候去日本留学的人会增加
4. 问题(1)中选择的原因大概会解决, 但是留学日本的人会减少
5. 不知道

以上为此次调查的问题。
非常感谢你的合作。